

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成22年1月21日(2010.1.21)

【公開番号】特開2008-284850(P2008-284850A)

【公開日】平成20年11月27日(2008.11.27)

【年通号数】公開・登録公報2008-047

【出願番号】特願2007-134341(P2007-134341)

【国際特許分類】

B 4 1 J 2/045 (2006.01)

B 4 1 J 2/055 (2006.01)

B 4 1 J 2/205 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 3/04 103 A

B 4 1 J 3/04 103 X

【手続補正書】

【提出日】平成21年12月2日(2009.12.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

(A) ノズルから液体を吐出させるための動作をする素子と、

(B) 前記素子を動作させるための電圧変化パターンを有する第1駆動信号を生成する第1駆動信号生成部と、

(C) 前記素子を動作させるための前記第1駆動信号の電圧変化パターンとは異なる他の電圧変化パターンを有する、第2駆動信号を生成する第2駆動信号生成部と、

(D) 前記第1駆動信号の生成に用いられる第1電源を生成するとともに、前記第2駆動信号の生成に用いられ、電源電圧が前記第1電源の電源電圧とは異なる第2電源を生成する、電源生成部と、

(E) を有する、液体吐出装置。

【請求項2】

請求項1に記載の液体吐出装置であって、

前記電源生成部は、

前記第1駆動信号の振幅に応じた電源電圧に定められた第1電源を生成する第1電源生成部と、

前記第2駆動信号の振幅に応じた電源電圧に定められた第2電源を生成する第2電源生成部とを有する、液体吐出装置。

【請求項3】

請求項1又は請求項2に記載の液体吐出装置であって、

前記第1駆動信号は、最大量の液体を前記ノズルから吐出させる際に前記素子へ印加される最大量吐出パルスを含み、

前記第2駆動信号は、前記最大量吐出パルス以外のパルスを含む、液体吐出装置。

【請求項4】

請求項3に記載の液体吐出装置であって、

前記第2駆動信号は、前記液体の増粘を抑制する際に前記素子へ印加される増粘抑制パルスを含む、液体吐出装置。

【請求項 5】

請求項 4 に記載の液体吐出装置であって、

前記素子は、充電レベルに応じた度合いで変形し、変形によって前記ノズルに連通された圧力室内の液体に圧力変化を与えるものであり、

前記増粘抑制パルスは、前記液体が吐出されない程度の圧力変化を前記圧力室の液体に与えるための動作を、前記素子に行わせる、液体吐出装置。